

委託事業実施内容報告書

平成22年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 (株)JBnet

1 事業の趣旨・目的

就学前の子どもたちが、毎日の天気や絵本の読み聞かせ、自分の名前・返事のやりとり、日本の行事などを通じて楽しく日本語と日本文化に親しみ、また、名詞や簡単な動詞・ひらがななど、絵や実際の動作を用いて、遊びの中で興味を持たせ、主体的に日本語を話すように工夫し、地元の小学校・保育所に進めるよう自然に日本語を習得するよう導く。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
5月10日	サポートハウス みんなのいえ	吉積 尚子 藤田 信吾 鈴木 祥子	今年度の運営について	短い時間で楽しく効果的な学習をするために、準備と検証を行い、外部の方のアドバイスを適宜求める。
10月15日	サポートハウス みんなのいえ	吉積 尚子 藤田 信吾 鈴木 祥子	現状の確認と今後について	不況の影響が抜けきらないが、子どもたちは安定している。引き続きアドバイザーの助言を参考により効果的な学習をする。
3月28日	(株)JBnet	吉積 尚子 藤田 信吾 鈴木 祥子	今年度のまとめ	生活言語だけでなく、学習につながる言葉の習得を念頭に学習を組み立ててきたが、期待以上の成果を得られた。

【写真】



3 日本語教室の開催について

- ① 日本語教室の名称 ひよこ日本語教室
 - ② 開催場所 サポートハウスみんなのいえ
 - ③ 学習目標 楽しみながら、小学校・保育所につなげる日本語を習得する
 - ④ 使用した教材・リソース 独自に作成
 - ⑤ 受講者の募集方法 ブラジル食材店、レストラン等でのちらしの設置、ポスティングなど。
 - ⑥ 受講者の総数 25 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)
- (出身・国籍別内訳 ブラジル国 22人, フィリピン国 3人)
- ⑦ 開催時間数(回数) 200時間 (全200回)

⑧ 日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語（人）	教授者・補助者人数	内容
①	4月 9：00～9：30 2：30～3：00	15時間	19人	ブラジル国・ポルトガル語（17人） フィリピン国・タガログ語（2人）	教授者1人 補助者2人	日本語学習 独自教材使用
②	5月 9：00～9：30 2：30～3：00	17時間	16人	ブラジル国・ポルトガル語（14人） フィリピン国・タガログ語（2人）	教授者1人 補助者2人	日本語学習 独自教材使用
③	6月 9：00～9：30 2：30～3：00	22時間	19人	ブラジル国・ポルトガル語（17人） フィリピン国・タガログ語（2人）	教授者1人 補助者2人	日本語学習 独自教材使用
④	7月 9：00～9：30 2：30～3：00	19時間	18人	ブラジル国・ポルトガル語（16人） フィリピン国・タガログ語（2人）	教授者1人 補助者2人	日本語学習 独自教材使用
⑤	8月 9：00～9：30 2：30～3：00	19時間	18人	ブラジル国・ポルトガル語（16人） フィリピン国・タガログ語（2人）	教授者1人 補助者2人	日本語学習 独自教材使用
⑥	9月 9：00～9：30 2：30～3：00	19時間	16人	ブラジル国・ポルトガル語（15人） フィリピン国・タガログ語（1人）	教授者1人 補助者2人	日本語学習 独自教材使用
⑦	10月 9：00～9：30 2：30～3：00	19時間	18人	ブラジル国・ポルトガル語（17人） フィリピン国・タガログ語（1人）	教授者1人 補助者2人	日本語学習 独自教材使用
⑧	11月 9：00～9：30 2：30～3：00	17時間	20人	ブラジル国・ポルトガル語（18人） フィリピン国・タガログ語（2人）	教授者1人 補助者2人	日本語学習 独自教材使用
⑨	12月 9：00～9：30 2：30～3：00	19時間	20人	ブラジル国・ポルトガル語（18人） フィリピン国・タガログ語（2人）	教授者1人 補助者2人	日本語学習 独自教材使用
⑩	1月 9：00～9：30 2：30～3：00	13時間	15人	ブラジル国・ポルトガル語（14人） フィリピン国・タガログ語（1人）	教授者1人 補助者2人	日本語学習 独自教材使用
⑪	2月 9：00～9：30 2：30～3：00	18時間	16人	ブラジル国・ポルトガル語（15人） フィリピン国・タガログ語（1人）	教授者1人 補助者2人	日本語学習 独自教材使用
⑫	3月 9：00～9：30 2：30～3：00	3時間	15人	ブラジル国・ポルトガル語（14人） フィリピン国・タガログ語（1人）	教授者1人 補助者2人	日本語学習 独自教材使用

月	日	内容（日替わり）
4月	1, 2, 5, 6, 7, 8, 9, 19, 20, 21, 22, 23, 26, 27, 28	4カ国語でごあいさつ 手遊び：いとまきまき 読み聞かせ ことばのおけいこ：赤い・青い・長い・短い・～です 季節のトピック：チューリップ（歌と身体で表現“咲く”）
5月	6, 7, 10, 11, 12, 13, 14, 17, 18, 19, 20, 21, 24, 25, 26, 27, 31	4カ国語でごあいさつ 手遊び：指がっぽん 読み聞かせ ことばのおけいこ：体のパーツ 行事：こいのぼり 季節のトピック：おたまじゃくし（歌と身体で表現“およぐ”）
6月	1, 2, 3, 4, 7, 8, 9, 10, 11, 14, 15, 16, 17, 18, 21, 22, 23, 24, 25, 28, 29, 30	4カ国語でごあいさつ 手遊び：てをたたきましょう 読み聞かせ ことばのおけいこ：～が痛い・野菜と果物の名前 行事：虫歯予防デー 季節のトピック：春の自然（生き物の認知）
7月	1, 5, 6, 7, 8, 9, 12, 13, 15, 16, 20, 21, 22, 23, 26, 27, 28, 29, 30	4カ国語でごあいさつ 手遊び：とんとんあんぱんまん 読み聞かせ ことばのおけいこ：かたち 行事：たなばた 季節のトピック：朝顔いくつ？（庭の朝顔の数を聞く）
8月	2, 3, 4, 5, 6, 9, 10, 11, 17, 18, 19, 20, 23, 24, 25, 26, 27, 30, 31	4カ国語でごあいさつ 手遊び：ぐーちょきぱーでなにつくろう 読み聞かせ ことばのおけいこ：すき・きらい 季節のトピック：水着（自分の水着の色を教える） かとりせんこう
9月	1, 2, 3, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 13, 14, 15, 16, 17, 21, 22, 24, 27, 28, 29	4カ国語でごあいさつ 手遊び：ぱんやさんにおかいもの 読み聞かせ ことばのおけいこ：バスごっこ 行事：敬老の日 季節のトピック：秋の食べ物（壁面飾りから探す）
10月	1, 4, 5, 6, 7, 8, 12, 13, 14, 15, 18, 19, 20, 21, 22, 26, 27, 28, 29	4カ国語でごあいさつ 手遊び：やきいもグーチャーパー 読み聞かせ ことばのおけいこ：いいにおい・〇つ（数の数え方） 行事：遠足（相撲観戦） 季節のトピック：すもうをとってみよう
11月	1, 2, 4, 5, 8, 9, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 18, 19, 26, 29, 30	4カ国語でごあいさつ 手遊び：こんこんくしゃん 読み聞かせ ことばのおけいこ：家具の名前・て形 行事：引っ越し
12月	1, 2, 3, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 13, 14, 15, 16, 17, 20, 21, 22, 24, 27, 28	4カ国語でごあいさつ 手遊び：おべんとうばこのうた 読み聞かせ ことばのおけいこ：わたす・なげる・ころがす 行事：クリスマス
1月	6, 7, 11, 12, 13, 14, 17, 18, 19, 20, 21, 24, 25, 26, 27, 28, 31	4カ国語でごあいさつ 手遊び：なべなべそこぬけ 読み聞かせ ことばのおけいこ：元気です・怒ってます・かぜひいた 行事：お正月 季節のトピック：お正月の遊びと寒さを利用した自然観察（氷）
2月	2, 3, 4, 7, 8, 9, 10, 13, 14	4カ国語でごあいさつ 手遊び：ころころたまご 読み聞かせ ことばのおけいこ：大きなお友だち・小さなお友だち

	15, 16, 17, 21, 22, 23, 24, 25, 28	行事：まめまき 季節のトピック：おに・ひなまつりにむけて
3月	1, 2, 3	4カ国語でごあいさつ 手遊び：しあわせならてをたたこう 読み聞かせ ことばのおけいこ：かゆい 行事：おひなまつり

※行事や季節に合わせて絵本やテーマを決め日本語を組み立て展開させ、こどもたちの発話を促す。

⑨ 特徴的な授業風景(2～3回分)



7月7日 七夕

織姫様と彦星様の物語をミニシアターにし、興味を持たせ、わかりやすく表現。星・空・悲しいなどの言葉を学ぶとともに、日本文化を共有した。この後、笹にそれぞれの願いを書いた短冊を飾り、たなばたの歌を歌った。



節分を前にして鬼を題材に、工作をしながら節分の行事と、工作で使う言葉(切る・折る・貼る・線に沿って等々)を習得。作業をすることにより、しっかりと言葉を学んだ。

⑩ 活用した日系人等(日本語を母語としない)の名簿

氏名	母語(国籍)	来日年(日)数	参加回数	当該教室での役割
佐藤 ソライア	ポルトガル語 (ブラジル国)	11年	162回	授業補助, 通訳
山崎 エミ	ポルトガル語 (ブラジル国)	20年	38回	授業補助, 通訳

⑪ 支援者の名簿(⑩以外)

氏名	所属	専門分野及び日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割
平野 知見	京都造形芸術大学	多文化保育	20回	アドバイザー

4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

4歳未満児はあいさつや返事、天気など3歳未満児のこどもが覚える基本的な日本語の習得を、4歳以上児は次につなげる日本語(小学校や保育所でつかう言葉)の習得を目標とした。

② 学習者の習得状況

あいさつや返事、天気などはもちろんポルトガル語を母語とする子ども同士日本語で話をする、あるいはひらがな・カタカナを覚え、漢字まで興味を持ち自ら学ぼうとするなど予想外の上達をした。

③ 日本語教室設置運営の効果、成果

子どもは無理なく日常の言葉として日本語を習得し、日本文化を体験、また保護者も子どもから影響を受けて日本語や日本文化を受け入れる姿勢が以前より増した。

④ 地域の関係者との連携による効果、成果 等

幼稚園・プレスクール・虹のかけ橋教室はもちろん、地域のグループホームを訪問し歌や会話を楽しむなど、教室の中だけに留まらず活動できた。

⑤ 改善点、今後の課題について(具体的に記述する。)

- a. 現状 よく生活言語と学習言語は違うといわれるが、小学校に入って学習についていけない多文化な子どもがたくさんいる。なんでも楽しく吸収できる就学前に、工夫した日本語教育がなされると、そういう子どもも少なくなるのではないか。また、不況が少し落ち着いたようにみえるが、多文化な子どもたちの家庭環境はまだ不安定である。家庭が安定しないと、保育・教育施設において途中入退所が頻繁に行われることになり、安定した保育・教育にはつながらない。すなわちそこで行われる日本語教育も豊かなものにはならない。
- b. 今後の課題 小学校・保育所につながる日本語の質・量を研究し、多くの関係者と共有すること、指導者の育成が課題である。
- c. 今後の活動予定、展望